

## 今週（6月4日から6月8日）の短期金融市場動向

### ●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、4日の税揚げ要因により日銀当座預金残高が大幅に減少し、370兆円台半ばでの推移となった。

無担保コールO/Nは、先週からの流れを受け引き続き調達ニーズが弱く、邦銀で▲0.086～▲0.05%、証券業態で▲0.086～▲0.085%での調達を中心となった。加重平均レートは、▲0.07%台前半での推移となった。ターム物は、今積み期間内に期日を迎える1W物を中心に、▲0.06%台での出合いが複数見られた。

固定金利方式による共通担保資金供給オペは8日に2W物・8,000億円がオファーされ、1,520億円（期落ち額1,571億円）と札割れとなった。

### ●レポ市場

今週のGC O/Nは、概ね▲0.15～▲0.09%程度のレンジでの取引となった。資金調達ニーズが強めであったこともあり、レートは徐々に上昇する展開となった。

SCは個別銘柄では2y387～389、5y130～135、10y338～350、20y163～164、30y57～58等、カレント近辺やチャーペスト周りの銘柄に引き合いが多く見られた。

### ●短国市場

今週の短国市場は、GCLレポレートが上昇基調にあり、様子見姿勢が強く閑散としたマーケットとなる中、全般的に軟調な展開となった。

4日に実施された短国買入オペは、5,000億円でオファーされた。業者の在庫が膨らんでいるのか、応札額は23,365億円と多く、平均落札利回較差+0.003%、按分落札利回較差+0.002%と小甘い結果となった。7日に実施された6M物の入札は、WI取引において▲0.13%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1282%、按分落札利回▲0.1262%と概ね事前予想通りの結果となった。セカンダリーでは、▲0.14～▲0.1325%の出合いと堅調に推移した。

8日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.134～▲0.13%での出合いが見られる中、平均落札利回▲0.1295%、按分落札利回▲0.1243%とマーケットの慎重姿勢を反映した結果となった。

### ●CP市場

今週のCP市場は、瓦斯・卸売・その他金融業態で大型発行が見られたものの、月初ということもあって落ち着いたマーケットとなった。週間償還総額4,400億円程度に対して、週間発行総額は3,800億円程度と償還超であった。発行レートは一部の銘柄で強めの買いが見られたものの、ほとんどが0%から浅いマイナスでの決着となった。市場残高は引き続き事業法人の活発な資金調達ニーズを反映し、5月末時点で17兆円台前半まで膨らんでいる。また、a-2格相当の銘柄も発行残高が1兆円に迫ってきている。これは、a-2格でも数bp程度で発行可能な調達環境とプラスレートでの購入を求める投資家サイドの需要がマッチしているためだと考えられる。

5日にはCP等買入オペが先月比500億円増額の2,500億円でオファーされた。概ね横ばいでの結果が予想される中、平均落札レート▲0.003%・按分落札レート▲0.005%と、前回比（平均0.002%・按分▲0.004%）で両レートとも低下した。

### ●短期金融市場関連指標

	日経平均 (円)	新発10年物 国債利回り (%)	為替 (ドル/円中心相場)	無担保コールO/N (加重平均・%)	東京レポレート(翌日物・ T+1スタート・%)	日銀当座預金残高 (億円)
6/4 (月)	22,475.94	0.045	109.66	△ 0.071	△ 0.140	3,762,500
6/5 (火)	22,539.54	0.045	109.88	△ 0.073	△ 0.117	3,776,900
6/6 (水)	22,625.73	0.045	109.86	△ 0.072	△ 0.113	3,759,400
6/7 (木)	22,823.26	0.045	109.96	△ 0.071	△ 0.110	3,774,800
6/8 (金)	22,694.50	0.040	109.81	△ 0.072	△ 0.100	3,773,500

## 来週（6月11日から6月15日）の短期金融市場動向

### ●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
6/11 (月)	4月の機械受注統計(内閣府 8:50) 5月のマネーストック(日銀 8:50) 4月の特定サービス産業動態統計速報(経済産業省 13:30)				
6/12 (火)	5月の企業物価指数(日銀 8:50) 4月の第3次産業活動指数(経済産業省 13:30)	流動性供給 6,000億円 6/13発行			米FOMC(1日目) 5月の米財政収支 5月の米消費者物価指数
6/13 (水)		交付税借入 10,500億円 6/21借入			米FOMC(2日目) FRB 米経済見通し発表 5月の米生産者物価指数 5月の英消費者物価指数
6/14 (木)	日銀政策委・金融政策決定会合(1日目 14:00~)	TB3M 44,000億円 6/18発行			ECB定例理事会(金融政策発表) 5月の米小売売上高 4月の米企業在庫
6/15 (金)	日銀政策委・金融政策決定会合(2日目 9:00~) 日銀総裁定例会見(15:30) 4月の石油等消費動態統計(経済産業省 13:30)				5月の米鉱工業生産・設備稼働率 6月のミシガン大消費者信頼感指数速報 5月のユーロ圏消費者物価指数改定値

### ●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
6/11 (月)	900	▲ 16,000	▲ 15,100	全店共通 CP買入 国債買入 国債補充 社債買入 ETF買入	▲ 1,600 ▲ 400  400 ▲ 100	1,500  3,900  200	3,900	▲ 11,200	TB3M発行▲44000償還43700 TB6M発行▲23000償還12100 10Y物価連動償還2500
6/12 (火)	1,000	3,000	4,000				0	4,000	
6/13 (水)	0	▲ 5,000	▲ 5,000				0	▲ 5,000	源泉所得税揚げ 社会保障費 流動性供給▲6000
6/14 (木)	▲ 1,000	2,000	1,000	被災地支援	▲ 900		▲ 900	100	交付税借入▲10500期日10500
6/15 (金)	▲ 1,000	84,000	83,000	CP買入		2,500	2,500	85,500	年金定時払い 2Y償還9800 個人向け3Y・5Y・10Y発行▲3600 個人向け3Y償還200
週間合計	▲ 100	68,000	67,900	—	▲ 2,600	8,100	5,500	73,400	

6/11は日銀予想、6/12以降は当社予想

### ●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、積み最終週となる事から、調達ニーズがやや増加すると考えられる。しかし、最終日に年金定時払いが控えている事から、無担保コールO/N加重平均レートの上昇は限定的なものにとどまると予想される。

レボ市場は、積み最終週における投資家の動きや業者の在庫状況が注目される。

短国市場は、14日に3M物の入札が実施予定となっており、買入オペの動向を含め、レート水準が注目される。

CP市場は引き続き良好な調達環境を受け、事業法人のCP発行残高はリーマンショック以前と同水準まで回復することが期待されている。

主要なイベントとしては、国内では、14~15日にかけて金融政策決定会合が予定されている。海外では、12日に5月の米国CPI、13日に5月の英国CPI、12~13日のFOMC、14日のECB定例理事会、などが予定されている。

- ◆本資料は信頼できると思われる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
- ◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様ご自身でなされますようお願い申し上げます。
- ◆金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。